

第56回 オホーツク中学校陸上競技大会開催要項

兼 第54回 北海道中学校陸上競技大会標準記録突破指定大会 オホーツク予選

兼 第50回 全日本中学校陸上競技選手権大会四種競技標準記録突破指定大会選会

- 1 主催 オホーツク中学校体育連盟、オホーツク陸上競技協会
 2 後援 北海道教育庁オホーツク教育局、北見市教育委員会
 3 主管 オホーツク中学校体育連盟 陸上競技・駅伝競走専門委員会
 4 会期 令和5年6月17日(土) 18日(日)
 5 会場 北見東陵公園陸上競技場 (〒090-0061 北見市東陵町 27 [TEL:0157-24-9800](tel:0157-24-9800))
 6 競技種目

(1) 男子(18種目)

学年別	1年	100m 1500m
	地区奨励1年	110mH (高さ76.2cm、台数10台、インターバル共通男子と同様) 砲丸投 (重さ4.0kg)
	2・3年	100m 1500m
共通		200m 400m 800m 3000m 110mH 4×100mR
		走高跳 棒高跳 走幅跳 砲丸投 (重さ5.0kg)
		四種競技 (1日目: ①110mH ②走高跳 2日目: ③砲丸投 ④400m)
地区奨励共通		円盤投 (重さ1.5kg)

(2) 女子(14種目)

学年別	1年	100m
	地区奨励1年	80mH (高さ76.2cm、台数9台、インターバル7.00m) 800m
	2・3年	100m 800m
共通		200m 1500m 100mH 4×100mR
		走高跳 走幅跳 砲丸投 (重さ2.721kg)
		四種競技 (1日目: ①100mH ②砲丸投 (重さ2.721kg) 2日目: ③走高跳 ④200m)
地区奨励共通		円盤投 (重さ1.0kg)

7 日程

- * 1日目に開始式、2日目に閉会式を実施する。
- * 開錠は、7時30分とする。
- * 公開練習は、7時30分から9時30分までとし、1日目の競技終了後はできない。

	7:30	9:30	9:45	10:00		15:00	15:15
第1日目 6月17日(土)	公開練習	諸準備	開始式	競技会		後片付け	
第2日目 6月18日(日)	公開練習	諸準備		競技会	閉会式	後片付け	

8 参加資格

* 詳細は北海道中学校体育大会参加資格に準じる。

(1) オホーツク中学校体育連盟に加盟する中学校・中等教育学校・義務教育学校に在籍する生徒で、当該学校長が出場を認めた生徒とする。

(2) オホーツク中学校体育大会における参加の特例

◎地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)に所属する中学生

①「北海道中学校体育大会の参加を認める条件」「北海道中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件」「北海道中学校体育大会における地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)の参加の特例 陸上競技の細則」を満たしていること。

②4月28日(金)までにオホーツク中学校体育連盟に登録申請を行い、承認されていること。

9 競技規則

2023年（公財）日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項による。

10 競技方法

- (1) 予選・決勝の組み合わせは、主管団体で行う。
- (2) 一人の出場種目は、リレーを除き2種目までとする。
- (3) リレーは、男女ともそれぞれ1チームとする。
- (4) 学年別種目は、該当学年の生徒に限る。学年別種目に参加する場合、共通種目への参加はできない。
- (5) 短距離・中距離種目（100m, 200m, 400m, 800m, 100mH, 110mH）
 - ① 予選はタイムレースとし、ベスト16を決勝進出とする。
 - ② 上位8名をA決勝（2組目）、下位8名をB決勝（1組目）とする。
 - ③ 順位の決定は、A決勝が1位～8位、B決勝が9位～16位とする。
 - ④ 出場人数が32名を下回る場合は、ベスト8を決勝進出とする。
- (6) 中・長距離種目（1500m, 3000m）
 - ① 出場人数によって、決勝進出人数を決める。
 - ② 場合によっては、タイムレース決勝とする。
- (7) 奨励種目1年（110mH, 砲丸投, 80mH, 800m）
 - ① タイムレース決勝とする。
 - ② 砲丸投については計測ラインを設ける。＊（8）②参照
- (8) 跳躍・投てき種目
 - ① 走幅跳及び砲丸投の予選の試技に計測ラインを設定し表の通りとする。記録については、試技の1本目は計測するが、2本目以降計測ラインに満たない場合は計測しない。四種競技の砲丸投については3本とも計測する。
 - ② 走高跳・棒高跳については、開始の高さは表の通りとする。

【計測ライン及び開始の高さ】

種 目	男 子	女 子
走幅跳	3 m 5 0	3 m 3 0
砲丸投（共通）	6 m 0 0	6 m 0 0
砲丸投（1年）	5 m 0 0	—
走高跳	1 m 2 5	1 m 1 5
棒高跳	1 m 8 0	—
四種競技（走高跳）	1 m 2 0	1 m 1 0
四種競技（砲丸投）	該当しない	該当しない
円盤投	1 5 m 0 0	1 0 m 0 0

11 参加料

- (1) 個人種目 1種目 1, 000円 2種目 1, 600円
- (2) リレー 1チーム 2, 000円

12 アスリートビブス（ゼッケン）

- (1) 専門委員会が割り当てた番号を使用すること。安全ピンは選手が各自で準備すること。
- (2) トラック競技における腰ナンバーについては、シール式とする。

13 表 彰

- (1) 入賞者は各種目8位までとし、賞状を授与する。
- (2) リレーの優勝校には、トロフィーを授与する。（持ち回り）

1.4 参加申込方法・参加料

(1) 参加申込方法

- ① NISHI WEB システムにログインし、エントリーシートをダウンロードし、必要事項を入力。
- ② 入力事項を確認の上、NISHI WEB システムにエントリーシートをアップロードする。
【エントリー期間：5月1日（月）～5月17日（水）】
- ③ 参加同意書に公印を押印したものを、監督会議の受付で提出すること。

(2) 参加料

- ① 監督会議に持参し、受付で提出すること。

1.5 監督会議

(1) 日時：6月7日（水）14時00分～

(2) 会場：北見東陵公園陸上競技場 本部棟

(3) 内容：① 大会開催に係る件

- ② 全国・北海道中学校陸上競技大会について
- ③ 通信陸上競技大会等
- ④ その他

1.6 第54回北海道中学校陸上競技大会について

(1) 会場：釧路市民陸上競技場

(2) 会期：7月25日（火）26日（水）27日（木）

(3) 参加資格

- ① 地区中学校陸上競技大会において1位及び標準記録を突破した生徒。但し、地区奨励種目は除く。
- ② 全日本中学校通信陸上競技大会北海道大会において標準記録を突破した生徒。
- ③ 標準記録（追い風参考記録も対象とする）

種目	男子（13種目）	女子（10種目）
100m	11 “80	13 “30
200m	24 “40	28 “10
400m	56 “45	—
800m	2 ‘13 “00	2 ‘32 “00
1500m	4 ‘33 “50	5 ‘17 “00
3000m	9 ‘57 “50	—
110mH	17 “84	17 “10
走高跳	1m61	1m40
棒高跳	2m60	—
走幅跳	5m70	4m65
砲丸投	10m30	9m50
四種競技	1, 750点	1, 875点
4×100mリレー	47 “70	54 “00

1.7 個人情報の取り扱い

- (1) 選手の大会成績はホームページ及び記録集等へ記載するために利用する。
- (2) 選手の競技記録は、ランキング作成及び番組編成のために利用する。
- (3) 監督または引率者の連絡先は、大会運営のため、緊急を要する場合に利用する。
- (4) 上記以外の目的で個人情報は利用しない。必要がある場合はおって連絡する。

18 その他

- (1) 大会運営につき、各校必ず1名以上の競技役員に協力してください。
- (2) 令和4年度のリレー優勝校は、トロフィーの返還をお願いします。【男子：美幌北中 女子：美幌中】
- (3) 災害警報、悪天候、事件・事故及び新型コロナウイルス感染症感染拡大予防等により、大会に影響がおよぶ恐れがある場合は、主催者が判断し、競技日程の変更または中止する場合等もあるうる。
- (4) 大会に関する連絡については、オホーツク陸上競技協会のホームページに掲載するので、こまめに確認をしてください。(オホーツク陸協ホームページ：<http://www.h-ork.jp/>)
- (5) 問い合わせ先については、下記をお願いします。

〒093-0084

網走市向陽ヶ丘6丁目1-1 網走市立第二中学校

オホーツク中学校陸上競技専門委員会

委員長 堀澤 拓磨

電話番号：0152-44-5248 FAX 番号：0152-43-4722

メールアドレス：ocrikujyou@gmail.com

19 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防について

- (1) 参加者は、(公財)日本中学校体育連盟の全国中学校体育大会実施上のインフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応について並びにスポーツ庁、中央競技団体等が作成している新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関するガイドラインを遵守し、大会に参加すること。
- (2) 大会実行委員会としても可能な限り感染防止対策を徹底した上で大会準備や大会運営に努めるが、参加者も大会期間中は各種ガイドラインに基づき、感染予防に努めること。
- (3) 参加者は、大会前の感染予防や緊急時の体制づくりの観点から、大会前1週間の体調を所定の用紙に毎日記入すること。
- (4) チームや選手の出場停止等、新型コロナウイルス感染症の感染予防のために主催者が決めた措置については、主催者の指示に従い、遵守すること。
- (5) 今後の新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、国や北海道などから大会開催についての指導・助言があった場合や、開催自治体などが当該地域において大会を開催することが難しいと判断した場合は、主催団体において大会の開催について改めて協議する。